

令和5(2023)年度 住まいとコミュニティづくり活動助成 活動中間報告

団体名

たてよこ書店

活動のテーマ

地域コミュニティの中心となる拠点整備及び広報発信

9月までに達成できた事項(箇条書き)

- ・ 農園の開墾
- ・ 農園で花や野菜の栽培
- ・ 近隣住民との植物の共同管理（水やりや花の植え替え）
- ・ 近隣住民へ収穫物の配布
- ・ アスレチック、モノづくり工房の工事（地域住民も巻き込みながら）
- ・ 完成したアスレチック&工房の塗装ワークショップ

今後の活動予定と令和6年3月末時点の達成予定事項

- ・ 2022年4月の活動スタートからこれまでの活動やこれからについて店主が考えていることなどをまとめた広報冊子製作
- ・ 工房を使ったモノづくりワークショップなどのイベント開催
- ・ 近隣住民とともに農園の継続整備、野菜や花の栽培
- ・ 農園の収穫物の配布（秋野菜、冬野菜）

たてよこ書店 中間報告資料

【地域コミュニティの中心となる拠点整備及び広報発信】

たてよこ書店店主 堀田滉樹

店主である堀田が2022年4月に物件探しを開始。同年7月に物件が確定し、12月に書店を開業させました。物件は縦に細長い雁木町家を活用しているため、部屋数が多いです。様々な機能を持った「小さな複合施設」というコンセプトのもとで建物全体の活用を進めていくにあたり、商業的な取り組みに加えて、まちの子供たちが集まることのできる空間を作るべきだと考えました。そのことから、今年度は本補助金を活用し、地域住民とともに手入れをするシェア農園と、子供たちが自由に体を動かして遊ぶアスレチック、手を動かしてモノづくりができる工房の整備、そして活動全般を広めるための広報冊子の制作を実行するに至りました。

9月までの進捗状況

<農園>

5月上旬に近隣住民数人とともに庭を整備。防草シートを敷き、その上に玉砂利を巻きました。そこに花壇を整備し、参加者からのリクエストで千日紅とミニひまわりを、近所の小学生のリクエストでミニトマト、ピーマン、パプリカ、オクラを植えました。無事、今夏に収穫することができ、収穫したものを近所の方へお裾分け。近所の小学生が夕方に晩御飯のサラダ用にミニトマトを収穫に来るということもありました。

<アスレチック&工房>

書店のある母家と渡り廊下で繋がっている離れをアスレチック&モノづくり工房に改装。8月11日～19日まで「たてよこ書店公開工事」と題して、地域の方々とともに小規模の解体～躯体工事～仕上げ作業を実施しました。設計は早稲田大学創造理工学部に通う建築学生が担当し、施工は地域住民に加えて、新潟工科大学で建築を学ぶ学生も多数参加してくれました。組み立てたアスレチック&工房を自由にペイントする工程では、2日間にわたって近所の子供たちが集まり、ハケやローラー、スポンジや筆、手足なども使いながら、賑やかにペイントしてくれました。

<冊子制作>

本補助金を取得して実施するメインの事業がほとんど終了したため、年度末までに作成する予定の冊子制作にまつわるリサーチを開始しました。単なるこれまでの活動報告のパンフレットというよりは、書店のお客様やアスレチック&工房で遊んでくれている子供たち、様々な取り組みにご協力いただいている近所さんなど多くの方に関わっていただきながら作成を進めていきたいと思っています。

今後の活動予定

<農園>

夏野菜を撤去し、秋～冬の野菜を植えます。花は定期的にご近所さんが管理してくださっていて、様子を見て花を植え替えたりしていただいています。共同で管理してくださる方は今後少しずつ増えていく予定です。

<アスレチック&工房>

外部講師を招いた、工房でのモノづくりワークショップを開催します。

<冊子制作>

多くの関係者に関わってもらいながら、冊子制作を進めていきます。

<農園>



大きな石やゴミの回収



防草シート敷く&花壇制作



近隣住民&小学生と花や野菜を植える



近所の方から頂いた肥料(もみから)も混ぜる



実をつけるミニトマトやピーマン



収穫物を店頭にて配布

<アスレチック&工房>



工事前の離れ2階



床を抜いた様子



様子を見にきた近所の小学生



工事を進める設計者(右)と近所の参加者(左)



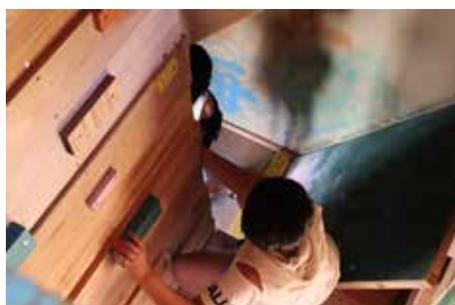
トゲやささくれを削る近所の参加者



工を手伝ってくれた県内の建築学生



塗装ワークショップに参加してくれた子供たち



完成したアスレチックで遊ぶ子供たち



完成したアスレチックで遊ぶ子供たち